


1円ぱちんこ導入で 4円パチンコが 上がらなかったのはなぜ

25 March, 2008

(株)船井総合研究所 パチンコグループ 野尻 純平



こんにちは。低貸玉に関する寄稿も今回で3回目となりました。
1回目は、低玉専門店の収益性について、
2回目は1円ぱちんこの活性化手法についてお話ししてきました。
予想以上にたくさんのお問合せをいただきましてありがとうございました。
実践に移されたホール様ではきっとそろそろ効果も出始めているころかと思います。
3回目となる今回は、
1円ぱちんこの部分導入で圧縮したはずの4円パチンコで稼働が上がらなかったホール様への処方箋です。

1円Pの部分導入は、4円Pの稼働を上げるためにある！

いきなりですがここで読者の皆さんに質問です。
「なぜ1円ぱちんこを導入しようと思いましたが？」。

皆さんの回答はたくさんあることと思います。
・機械代がかからないと聞いたから。
・競合店の1円ぱちんこがえらく調子がよさそうだから。
などなどいくつか答えはあると思いますが、
きっと一番多い回答は「4円パチンコの稼働があまり良くなかった。
1円ぱちんこの導入で4円パチンコの実質的な減台が出来て、
圧縮効果で稼働が上がるから。」ではないでしょうか。

実際、1円ぱちんこの部分導入の最大のメリットは、
1円ぱちんこをうまく使って4円パチンコの稼働を引き上げることです。

しかし1円ぱちんこの部分導入で
4円パチンコの稼働が圧縮効果以上に上がっているホール様は

どれくらいあるでしょうか。

おそらく1円ぱちんこの部分導入をしているホール様が10軒あったら、そのうち1軒あるかないかくらいの数ではないかと思います。

1円ぱちんこ自体の業績が良ければそれはそれで構わないと思われるかもしれませんが、実は1円ぱちんこの部分導入で一番オイシイ効果を放棄しているのです。

では1円ぱちんこの部分導入で圧倒的に4円パチンコの稼働を上げているホールさんは何をやったのでしょうか。すでに部分導入をされているホール様も、**これから導入しようと思っているホール様もこの考え方があるだけで4円の稼働は上がります。**それではご説明していきたいと思います。

1円P部分導入時に4円Pで一番気をつけないといけないこと

ただ1円ぱちんこを部分導入しただけでは圧縮効果以上に4円パチンコは上がりません。ほとんどのホール様で1円ぱちんこの部分導入は死島を利用して導入されます。そのため稼働圧縮効果は微々たるものが多いようです。私のご支援先で1円ぱちんこの部分導入をする際に気を配っていることは、

1円ぱちんこで30,000以上もしくは1円ぱちんこの一番店に準ずる稼働に持っていくこと

4円看板機種稼働を地域一番稼働・もしくは目標とする競合他店(以下地域一番店に略します)に準ずる稼働に合わせること

4円パチンコ台数(1ぱち導入後)×25%の機械で稼働アップのための仕掛け(集客手段)が取れること

の3点です。

に関しては大まかな流れは前回ご説明差し上げました。実は4円稼働が圧縮効果以上に上がる秘訣は と にあります。

1円ぱちんこで地域一番店もしくはそれに準ずる稼働をクリア出来れば、休眠客の掘り起し効果、競合店の1円ぱちんこユーザーの獲得が出来ます。

1円ぱちんこを部分導入することで獲得出来たこれらのユーザーは将来的な4円パチンコ客です。

そこでこのユーザーに対して4円遊技を促すわけですが、この時にユーザーの信頼に値する(4円を遊技してもいい)稼働帯は地域一番店の稼働が基準値となっています。

ややこしい表現ですが、わかりやすく噛み砕くとユーザーは地域一番店の稼働を見慣れているため、その稼働以下では見劣りしてしまい、遊技する気になれないということだと理解していただければ結構です。

そこで新規ユーザー（競合店から集客した4円客・掘り起した休眠客）に4円パチンコを遊技してもらうために、まずは看板機種から地域一番店の稼働に準ずるところまで引き上げておく必要があるわけです。

ここでいう看板機種とは自店で最も稼働貢献もしくは、エリア内で客数シェアを獲得出来る機種のことです。以下例をとって見てみましょう。

※地域一番店稼働状況			1円ぱちんこ導入前			1円ぱちんこ導入後		
機種名	台数	稼働	機種名	台数	稼働	機種名	台数	稼働
海(フォルスベック)	60	32,000	海(フォルスベック)	40	10,000	海(フォルスベック)	20	24,000
海(デジハネ)	20	34,000	海(デジハネ)	40	16,000	海(デジハネ)	20	32,000
平均	80	32,500	平均	80	13,000	平均	40	28,000

例えば地域一番店が80台32,500発稼働をしていたとすると、この稼働に準ずる稼働は32,500 - 6,000発 = 26,500発以上の稼働となります（この説明は割愛させていただきます）。

1円ぱちんこ導入時にこの稼働をクリア出来るよう看板機種の台数と台粗の設定をします。この時看板機種が4円台数×25%の台数に達していなくても構いません。看板機種+（部門・機械）で25%の台数を持つことが出来れば全体稼働は上がります。次に看板機種の台数が25%に満たない場合の+ですが、新台（3ヶ月程度は店平均稼働以上させられる機械・台数）で対応するのが集客と稼働が見込め適当かと思えます。

1円ぱちんこ導入時に4円パチンコの営業戦略として重要なことは、3ヶ月スパンで稼働を上げていくためのベースの稼働を確保することです。前述のようにベース稼働を作るためには、競合他店の稼働を分析し稼働帯を合わせるが必要になります。またこのベース稼働を作る考え方があるかないかでその後の新台効果にも大きく影響が出てきます。

この方法は1円ぱちんこ導入時のみに限ったことではありません。既に部分導入をされているホール様でも十分に間に合う手法です。是非自店へ落とし込むためにはどうすればいいのか検討されてみてはいかがでしょうか。今回の無料プレゼントは、私のご支援先での1円ぱちんこを使った4円パチンコ稼働アップ事例集です。数に限りがありますのでご希望の方はお早めにお問合せください。

「1円ぱちんこ導入で4円パチンコは上がる!!」事例集無料進呈中!!

ご支援先で成功した1円ぱちんこ導入時の4円パチンコの営業戦略を具体的にお知りになりたい方は以下にご連絡の上、テキストをご請求ください。1円パチンコで稼働を上げた成功事例と、稼働アップのコツをまとめたテキストをお送りいたします。
ご連絡先: 06 - 6377 - 4086 船井総合研究所 山本・恩塚

